

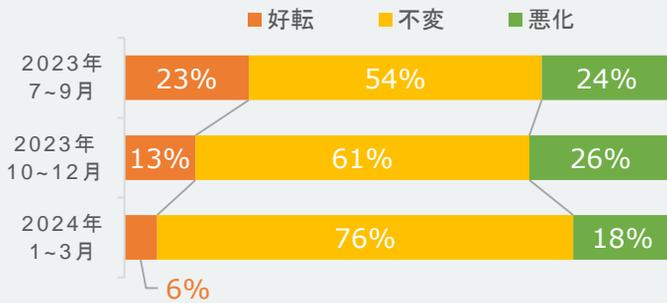
# 川崎商工会議所 中小企業景況調査 2023年10~12月期 調査結果

●調査対象 川崎商工会議所会員 80 事業所 ●調査時期 2023年 11月 1日～ 11月15日

## 1 業況について

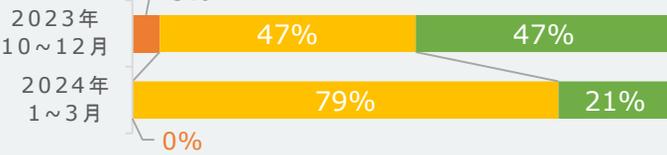
◆今期（10～12月）は好転が1割減少し、悪化・不変が増加となった。建設業・卸売業で悪化が0となった一方で、特に製造業では半数近くが悪化したと回答している。依然として需要の停滞や、原材料等の価格上昇が影響していると窺える。

◆来期（1～3月）の予測では、前回に引き続き、不変予測が増加し、全体で7割以上となった。小売業の好転予測が微増となっているものの、ほとんどの業態で好転が減少し、卸売業では2割以上減っているなど、慎重な見方をしていることが窺える。

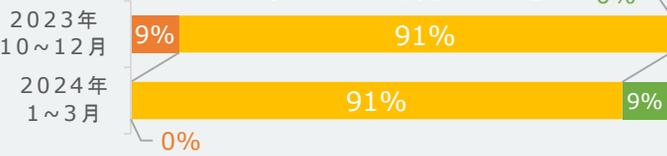


## ■ 業種別

### [製造業]



### [建設業]



### [卸売業]



### [小売業]



### [サービス業]



## 2 設備投資について

[今期（2023年10月～12月）]

実施した：14% 実施していない：86%

<実施内容>

設備	車両・運搬具	OA機器	付帯施設	その他
36%	18%	18%	9%	18%

[来期（2024年1月～3月）]

計画している：9% 計画していない：91%

<計画内容>

設備	OA機器	その他
57%	29%	14%

## 3 経営上の問題点 [複数回答]

◆前期に引き続き、原材料価格（仕入単価）の上昇が全ての業種において課題となっている。

◆一方、製造業・小売業で「需要の停滞」が1位（卸売業では2位）となっており、物価の高騰等の影響が窺える。

### [製造業]

1位	需要の停滞	47%
2位	製品（加工）単価の低下・上昇難	32%
3位	原材料価格の上昇	26%

### [建設業]

1位	材料価格の上昇	45%
2位	・新規参入業者の増加 ・材料の入手難 ・材料費・人件費以外の経費の増加	36%

### [卸売業]

1位	仕入単価の上昇	67%
2位	・人件費以外の経費の増加 ・販売単価の低下・上昇難 ・需要の停滞	22%

### [小売業]

1位	需要の停滞	57%
2位	仕入単価の上昇	35%
3位	消費者ニーズの変化への対応	30%

### [サービス業]

1位	材料等仕入単価の上昇	39%
2位	人件費の増加	28%
3位	・人件費以外の経費の増加 ・従業員の確保難	22%